

<福島県納税貯蓄組合連合会会長賞>

消費税の向かう先には

いわき市立磐崎中学校

3年 西 美咲

私には、物申したいやつがいます。何を買うにもついてくる迷惑なやつ。そう、消費税です。この間まで、本当に邪魔だなあと思っていました。しかし、最近気付いてしまったのです。あいつは、本当は良いやつなのではないかと。私は、消費税のことが気になって、夜も眠れなかったので、調べてみることにしました。

私達消費者は、事業者が提供する商品を購入する際に、消費税を払います。私は、払った後に、そのお金が、一体どこへ行っているのか、疑問になったので、調べてみました。

私達が消費税を払った後、そのお金が向かった先は、税務署でした。事業者が、消費者のお金を預かり、かわりに納めてくれるのです。私は、今まで、事業者のお財布に向かうのかと思っていました。

ここで、さらに疑問になったことがあります。それは、税務署とは何か、ということです。

調べてみたところ、税務署とは、国庫に納付する税金を取り扱う省庁でした。税務署は、日本の至るところにあるそうです。

スッキリしたところで、一番気になる疑問が浮かびました。それは、消費税はどんなことに使われているのか、ということです。

なんと、私達の払った消費税は、高齢者への年金や、国民健康保険の財政支援の拡充、介護の為の資金、子育て支援など、いろいろなことに使われていた

のです。ただ、商品を買っただけなのに、それが、見ず知らずの人の為になっていたと思うと、何だか心地よくなってきます。まさに、一石二鳥です。

今回、消費税のことをいろいろ調べてみて、最初はあるに嫌だった消費税も、今では自分から進んで払いたくなくなってしまふほど好きになってしまいました。消費税の向かう先には、人々の笑顔が待っているのです。消費税の大切さを忘れずに、これからも社会に貢献していきたいです。